

おかざき

市議会だより

3月定例会

平成23年5月1日発行

活発な議論を経て、経費の削減と
緊急性を精査した平成23年度予算を可決



No. 157

目次

- 市長提案説明…………… 2
- 議案審議…………… 3～7
- 討 論…………… 8
- 議案・請願・陳情審議結果…… 9～10
- 代表質問…………… 11～15
- 6月定例会予定、政府などへの意見書 16

市長提案説明

平成22年秋以降、急速な円高の進行や海外経済の減速懸念、政策効果の一巡から景気の先行きが懸念されていたが、23年に入り基幹産業である自動車生産に底打ち感が出たことから、一部に持ち直しに向けた動きも見られ、2月の月例経済報告でも1月に続き景気判断を上方修正するなど、景気回復に向けた動きが強まってきた。

この経済情勢の中、国において審議されている23年度予算では、22年6月に閣議決定された財政運営戦略に基づき、基礎的財政収支対象経費と新規国債発行額を22年度以下に抑えたものの、少子高齢化社会の進展に伴う社会保障関係費の増加等により、22年度に引き続き、国債発行額が税収を上回る大変厳しい状況となっている。

新年度予算

本市の23年度予算は、財政環境が非常に厳しい中、基本方針として経常的な経費は一層の削減を行った上で必要な予算付けを行い、政策的な経費は事務事業評価の結果や必要性・緊急性を十分に精査し、真に必要なもののみ予算付けを行った。そのため、実施計画事業と認定されたものでも予算計上を見送るなど厳しい判断もした。

一般会計は1084億9千万円、特別会計は641億3870万円、企業会計は310億6776万円で、総額は2036億9645万円となり、22年度当初予算に対し4・9%の減となった。

重点事業

「健やかに安心して暮らせるまちづくり」として、10年にオープンした現在の公衆衛生センターは、市民の健康意識の高まりとともに人間ドック受診者が大幅に増加し手狭になっており、岡崎市医師会が新たな公衆衛生センターを建設する。市民の健康管理及び地域衛生の向上等に寄与することから、

整備費への補助を行う。

また、保育園、幼稚園の安全性・快適性の向上を図るため園庭の芝生化に取り組む。芝生化はけがの防止、温度上昇の抑制、砂ぼこり対策などのメリットの反面、維持管理の手間が多く掛かるため、23年度は保育園、幼稚園それぞれ一園で試験的に芝生化を行い、その効果等を検証していく。

「自然と調和した環境にやさしいまちづくり」として、新一般廃棄物中間処理施設では、22年11月10日から試運転を開始しており、現在、性能試験において機能・能力を確認中である。4月から一般ごみの受け入れを開始し、5月末の本格完成を目指している。

「賑わいと活力あるまちづくり」として、19年度に愛知県企業庁が着手した豊田・岡崎地区研究開発施設造成事業では、計画地内で確認された希少な動植物の保全対策を講じた事業計画の策定を進めており、これを反映した環境影響評価準備書が公告、縦覧された。今後は手続きを迅速に進め、できる限り早期に造成工事に着手していく予定と聞いている。

観光振興では、中国で徳川家康公ブームとなっており、本市では

豊田市、安城市とともに22年に設立した「三河家康公の旅 歓迎団」を活用して観光宣伝活動を行うほか、国、県、経済界と連携して誘致活動の強化と受入態勢の整備を進めていく。

「快適で魅力あるまちづくり」として、東岡崎駅周辺地区整備推進事業では22年12月に完成したパリアフリー化工事に続いて24年度供用開始を目指して東改札口設置工事に取り組む。また、北口駅前広場整備についても22年末に都市計画決定の告示を終えるとともに、用地取得を開始した。

藤川地区整備推進事業では、東部地域交流センター及び道の駅に係る用地取得を終え、24年度での供用開始を目指し、建設工事への着手、周辺道路の整備を進める。

「未来を拓く人を育むまちづくり」として、南中学校の過大規模を解消するため針崎町地内で建設を予定している（仮称）翔南中学校では、22年度用地取得を完了し、25年4月開校を目指して建設事業に着手する。

小中学校の環境整備として、22年夏の猛暑を受け、児童生徒がより快適に授業が受けられるよう、普通教室に天井扇の設置を進める。



議案審議

◆本会議における質疑

「平成23年度と22年度予算の性質別の増減内容を伺う」との質疑があり、「物件費は、子宮頸がん予防接種委託料が約4億8496万円の増、扶助費は、子ども手当が約17億5785万円、生活保護費約10億6799万円の増、児童手当が約5億5123万円の減、普通建設費は、占部川改修業務が約8億8483万円の増、新一般廃棄物中間処理施設建設事業が約84億1277万円、(仮称)翔南中学校新設業務が約37億5386万円の減などである」と答えた。

「23年度の高齢者対策予算の前年度との比較は」と質疑があり、「後期高齢者医療の医療費の療養給付費負担金が5億3394万円、国民健康保険事業会計の一般被保険者療養給付費の前期高齢者分が約5億円増加している一方、老人クラブの補助金約407万円の減、敬老祝金の支給年齢と金額の見直しにより1846万円の減額をお願いしている」と答えた。

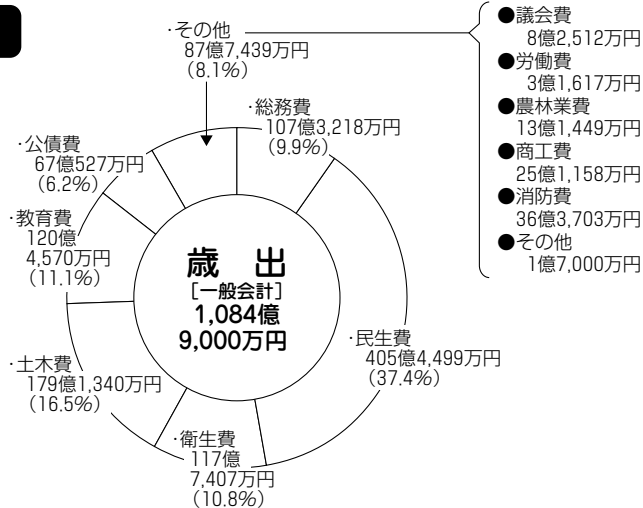
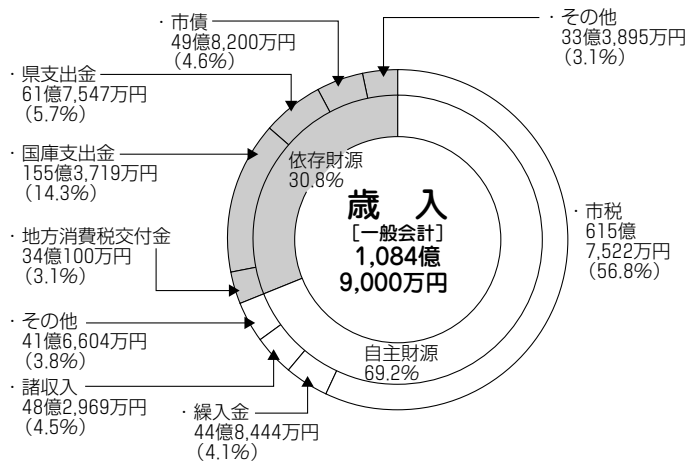
「県・市の平成20年8月末豪雨の22年度までの事業費と23年度予算額について伺う」と質疑があり、「県施工では、伊賀川が22年度ま

での事業費は19億2600万円、23年度は50億8200万円、鹿乗川は、22年度まで7億8700万円、23年度は6億9400万円、砂川は22年度まで7億4800万円、23年度は10億3000万円、広田川は22年度まで22億8000万円、23年度は10億3000万円、市施工の占部川は22年度まで27億6500万円、23年度は26億2000万円などである」と答えた。

「財政調整基金、市債、臨時財政対策債の他市との比較について伺う」と質疑があり、「財政調整基金は、長野市が150億3000万円、長野市が150億3000万円、本市は、52億1900万円、中核市40市中18番目である。市債残高の見込みは、678億3800万円、39位、借入額は49億8200万円、40番目の最低、臨時財政対策債についても最低である」と答えた。

「22年度予算で先送りした事業の反映状況は」との質疑があり、「歩道等の整備業務では、市道日名橋線竜美丘5号線は21年度3月補正で公共投資臨時交付金を繰り越し22年度に着工、道路新設改良事業の丹坂駒立線整備業務は、23年度に工事請負費、土地購入費など約1億725万円を計上し、岡崎城址公園整備業務では駐車場連絡通路の実設計など1220万円を計上している」と答えた。

グラフでみる平成23年度当初予算



- 議会費 8億2,512万円
- 労働費 3億1,617万円
- 農林業費 13億1,449万円
- 商工費 25億1,158万円
- 消防費 36億3,703万円
- その他 1億7,000万円

(単位：円)

<p>衛生費 31,275 (10.8%)</p>	<p>民生費 107,698 (37.4%)</p>	<p>総務費 28,507 (9.9%)</p>
<p>公債費 17,811 (6.2%)</p>	<p>教育費 31,997 (11.1%)</p>	<p>土木費 47,583 (16.5%)</p>

市民一人当たりでみた
一般会計歳出予算額
4月1日現在の人口
376,469人

会計別当初予算

(単位：百万円)

	予算額	対前年度比
一般会計	108,490	91.0%
特別会計	64,139	99.2%
企業会計	31,068	102.2%
計	203,697	95.1%

※6ページに主な事業を掲載してあります。

◆委員会における質疑

◇一般会計

◆総務費

「配信動画製作委託料の内容について伺う」との質疑があり「市ホームページから配信する動画製作のための委託料であり、従来のケーブルテレビだけでなく、市ホームページからインターネットによって動画配信することで、市内外を問わず多くの人が視聴可能となる。本市の歴史遺産、イベントの配信は、市外からの観光客誘致活動の一助になり、また市民向けにごみ分別方法などの情報を動画で説明すれば市民生活の向上にもつながるものと考えているが、市外・県外へPRする家康行列や観光夏まつりといったものは、肖像権などの関係があることから、その対応を踏まえ業者へ製作委託するものである」と答えた。

「指定管理者制度導入施設において、市民サービス向上に期待できる新たな企画があれば伺う」との質疑があり「新たなサービスとして、平成23年度に10周年を迎えるシビックセンターで会員制度を導入する。この制度は有料と無料の2種類あり、無料会員からは情報誌の送付とチケットの先行予約を受け付ける。有料会員からは、年会費5000円で情報誌の送付



シビックセンター

とチケットの先行予約を座席指定という形で受け付け、チケットの10%割引も導入する。公共のホールであるため、市内に在住在勤の方を入会条件としてサービスを進める」と答えた。

◆民生費

「公立保育園園庭芝生化業務の事業内容と今後の方向性について伺う」との質疑があり「モデル園として福岡南保育園を予定しており、芝生化の面積は乳児用園庭の400平方メートルを考えている。今後は、けがや砂ぼこりの防止など安全性や快適性といった芝生化のメリットと、維持管理費用や協力をいただく保護者への負担など、費用対効果について地元や保護者の意見を聞く中で方向性を決めていきたい」と答えた。

◆労働費

「緊急雇用創出事業の武将観光推進業務で、武将隊の構成と雇用人数は。また、具体的な内容を伺

う」との質疑があり「武将隊は家康公と徳川四天王、お付きの武将4人の合計9人で構成し、そのうち8人は失業者を雇用したい。武将隊の具体的な内容は、主に岡崎公園において土曜日、日曜日、祝日に武将隊全員によるショータイムとして、演舞、名乗り、観光客との掛け合いを、平日は最低1人常駐して練り歩きや記念撮影等、観光客のおもてなしを行いたい」と答えた。

◆農林業費

「22年度おかざき農業塾終了者のうち新規就農した人ほどのくらにいるのか。今後、新規就農者のフォロワーはどのようにしていくのか伺う」との質疑があり「おかざき農業塾の第一期生については22年7月から20名のうち4名が就農を開始している。新規就農者は、農地を確保することが必要となるため、そのフォロワーとして農業塾などの研修修了者の農地の取得下限面積を通常の30アールから10アールへ引き下げて借りやすくするほか、借りる土地が見つからない場合には耕作放棄地のあつせんなども考えている」と答えた。

◆土木費

「放置自転車の撤去の方法は。また、放置自転車を減らすための取り組みについて伺う」との質疑があり「放置された自転車及び原動機付き自転車については、条例

に基づいて注意札で移動の告知を行った後に撤去している。放置自転車を減らすための取り組みとしては、シルバー人材センターに委託し、注意札を張るなどの指導を行っている。また22年度は重点的な対策として、放置自転車の多い東岡崎駅と男川駅で、市職員、警察官、名鉄職員と共同で放置禁止の指導を行った」と答えた。

◆消防費

「防災緊急メール・防災くんの内容について伺う」との質疑があり「ゲリラ豪雨等により浸水被害の危険性が高まったときに鳴る浸水警報装置のサイレンに連動してメールを配信するシステムである。浸水情報以外に大雨警報等の警報情報、地震情報、東海地震関連情報、避難情報など、市から発信する緊急の情報等もメール配信する。現行のメルマガおかざきより配信速度が格段に速くなり、個人で受信する項目や、浸水情報の受信したい地区を選択することも可能である」と答えた。



防災くん

「東海地震が30年以内に発生する確率が87%と言われる中、防災拠点施設と併せて自主防災組織を今まで以上に強化、充実させる必要があると思われるが考えは」との質疑があり「東北地方太平洋沖地震が発生し、今後、東海・南海地震の発生が危惧される中、自助、共助が災害対策においては重要なことから、地域防災力の向上が急務であり、消防団、自主防災組織が連携を深め、地域防災リーダーの育成を図るとともに、防災講習会、消防訓練等を今まで以上に実施したいと考えている」と答えた。

◆教育費

「県から移譲されたアイプラザが平成23年8月に総合学習センターとしてオープンするが、施設の管理体制は。またオープンまでの問い合わせへの対応や予約の方法について伺う」との質疑があり、「総合学習センターは教育研究所の機能を引き継ぐ教育研究研修部門と、大・小ホールや体育室など市民に生涯学習活動の場を提供する生涯学習部門を併せ持った複合施設となり、開所当初は直営施設として民間委託を活用して運営するが、その中で複合施設に合った効率的、かつ効果的な運営管理方法を構築して、近い将来指定管理の導入も視野に入れて検討していきたい。また、オープンまでの対

応については、4月下旬から利用希望者への施設の案内を含めた利用の問い合わせに対応できる体制を取り、5月上旬から予約の受け付けを開始していく予定で現在準備を進めている」と答えた。

「本市は、22年4月に教育課程特例校の指定を全小学校で受け、小学校1年から英語活動を実施しているが、23年度も継続するのか」との質疑があり「23年度も全小学校において教育課程特例校の指定を継続する。週に1時間、5、6年生だけに外国語活動の授業を行うよりも、小学校1年生から6年生までの全児童に毎日英語を聞かせる方が効果的に英語のコミュニケーション能力を高めることができると考えており、全国に先駆け取り組みでもある。学校現場からは子どもたちの発音が良くなり、進んで英語を使おうという姿勢が見られるなどの成果も現れてきている」と答えた。



英語授業風景

◆特別会計

◆下水道

「衛生設備資金貸与業務は23年度も6800万円の計上があるが、貸与の内容について伺う」との質疑があり「処理区域の方に早期接続を促す施策であり、宅内排水設備資金貸し付けとして最高40万円、便所改造資金貸し付けとして最高40万円、合計最高80万円を無利子で貸し付けるものである。償還期間は40カ月以内で、23年度は排水設備資金貸し付け170件、便所改造資金貸し付け170件分の予算を計上している。」と答えた。

◆企業会計

◆病院事業

「23年度は、約1億6000万円の黒字を予定する予算編成であるが、その収支改善の要因について伺う」との質疑があり、「収入については、当院が従来から行っている比較的難易度の高い手術や救急患者の受け入れ、地域医療への貢献などが、22年4月の診療報酬改定で重点的に評価されたことや、看護師7対1体制、及び医師の負担軽減を目的とした医師事務作業補助員の増員等に伴う施設基準の新規取得などが要因となっている。支出については、医療職員の充実に伴う給与費の増額があるものの、単価交渉やジェネリック



市民病院

◆水道事業

「男川浄水場の更新工事には、220億円と多額の費用を要するが、水道料金の改定を考えているのか」との質疑があり、「安全で安心な水道水の安定供給のため、市水道ビジョンを基に中期経営計画を策定している。この計画は男川浄水場の更新工事を念頭に置いた財政収支計画であり、自己資金の確保に努めているため、現段階で料金改定の予定はない。ただ、節水型社会に入り、収入の大半を占める水道料金収入は減少傾向となり経営は厳しい状況にある。今後とも経費の節減、効果的な事業運営を心掛け低廉な水道水の安定供給に努めていきたい」と答えた。

予算額 千円

平成23年度当初予算の主な事業

1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
(市民生活・地域社会の充実)

・DV相談業務	3,198
・多文化共生推進業務	6,470
・防犯灯新設業務	15,266
・交通安全施設整備事業	171,146
・狭あい道路拡幅整備事業	136,379
・消防自動車等購入業務	203,789

2 健やかに安心して暮らせるまちづくり
(保健・医療・福祉の充実)

・予防接種業務	1,067,686
・公衆衛生センター整備費補助業務	301,661
・緊急一時預かり業務	600
・障がい福祉施設整備事業費補助業務	216,300
・介護保険暫定サービス利用者負担助成業務	147
・保育サービスの充実	6,018,432
・新医療制度対応業務	50,000
・地域の中核病院としての機能の充実	662,186

3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり
(環境共生都市の実現)

・鳥川ホテルの里整備業務	53,384
・地球温暖化対策事業	24,238
・新一般廃棄物中間処理施設建設業務	41,616

4 賑わいと活力あるまちづくり
(経済の振興)

・地域活性化事業	45,689
・緊急雇用創出事業	156,718
・遊休農地活用対策業務	1,300
・農林産物被害対策事業	23,273
・林業支援事業	92,831
・外国人観光客誘致業務	7,605

5 快適で魅力あるまちづくり
(都市基盤・生活基盤の整備)

・岡崎駅東地区整備業務	568,253
・組合施行土地区画整理助成事業	229,340
・東岡崎駅周辺地区整備推進業務	395,300
・藤川地区整備推進業務	981,689
・交通政策推進事業	333,268
・街路・道路新設改良事業	1,025,037
・橋りょう新設改良・修繕事業	798,315
・公園緑地整備事業	201,898
・河川・排水路改修事業	2,989,932
・地域優良賃貸住宅供給促進業務	50,000
・下水道事業の主な取り組み	2,390,190
・水道事業の主な取り組み	2,887,207

6 未来を拓く人を育むまちづくり
(教育・文化の振興)

・小中連携英語教育推進業務	4,887
・総合学習センター設立・管理運営事業	120,660
・小学校整備事業	444,132
・中学校整備事業	767,438
・東部学校給食センター建設業務	23,100
・旧本多邸復元活用業務	267,031
・悠紀 ^{ゆき} の里整備業務	33,593

7 将来まで自律した状態が続く都市経営
(自律した都市経営の実践)

・情報通信機器整備業務	38,349
-------------	--------

その他

・公立保育園・幼稚園園庭芝生化業務	1,506
・住民基本台帳整備業務	54,982
・中核市・特例市グリーンニューディール基金事業	41,144

平成23年度当初予算以外の議案

包括外部監査契約

包括外部監査人の監査を受けるとともに監査の結果に関する報告書の提出を受ける契約を行うもの。

質疑 監査結果は、担当課の実務にどのように反映されるのか伺う。

答弁 担当課に対しては、報告書の提出前に内容説明を行っており、監査結果を十分に理解した上で実務に反映、展開できるように努めている。また、監査を実施する過程においても、監査人から担当者に対して具体的な指摘も行われており、外部の専門家の意見に直接触れることで、今までと違った考え方、事務手法等を知る機会となり、事務改善につながるものと考えている。

条例の制定

◇産業人材支援センター条例

地域産業の振興のために必要な人材の育成を支援する施設の設置及び管理並びに使用料に関し必要な事項を定めるもの。

▼平成23年4月1日施行

質疑 この施設の譲渡を受けた後、市が運営することにより使用料は変更するのか。また、事業内容の

変更は可能なのか伺う。

答弁 貸し出しをする教室や実習室については、現在の料金体系を踏襲していくが、実習棟の第4実習室と第5実習室だけはこれまで一体の実習室として利用されており、その実態に合わせて一つの部屋として料金を設定したため若干安くなる。また、事業内容の変更については、国から示された譲渡条件は公用若しくは公共用に利用するというだけで、利用の方法は市の考え方次第であり、今回の譲渡を受けるに当たっては現在の利用方法を踏襲し、地域産業の振興を図る施設として活用していく。

条例の一部改正

◇国民健康保険条例

保険料の算定に係る賦課割合を見直すことにより、保険料の賦課の適正化を図るもの。

▼平成23年4月1日施行（一部公布の日から施行）

質疑 国民健康保険料の賦課割合を変更する理由について伺う。

答弁 厳しい経済状況の中、加入者の市民税所得割総額の増加を見込むことは厳しく、また、医療費の上昇を見込む必要があることから、保険料の賦課割合について、

所得割の割合を2%減らし、均等割及び平等割にそれぞれ1%ずつ配分を増やすことで、保険料の上昇を所得のある方などの負担に偏らせず、広く加入者全体で負担していただくものである。

◇児童育成センター条例

利便性の向上を図るため、休館日等を見直すもの。

▼平成23年4月1日施行

質疑 利便性の向上を図るための改正内容について伺う。

答弁 平日の利用時間は正午からとしているが、小学校の始業式など学校の行事による児童の下校時刻に合わせて正午前からの利用に対応し、通常授業のある日の児童の利用は授業終了後からの利用であるため、児童の利用に対応できるように、利用時間を児童の下校時からとするものである。また、年末年始の休館日については、12月28日から1月3日までとしているが、12月28日は市の他の施設の多くが開館していることや、保護者の勤務先の年末年始休暇の開始が遅くなっている傾向であること、利用を希望する声も多くあることから開館し、利用者の利便性の向上を図るものである。

条例の廃止

◇牧平公園条例

牧平公園を含む一部区域の都市

計画区域への編入により、同公園を都市公園として位置付けることに伴い、条例を廃止するもの。

▼平成23年4月1日施行

質疑 都市公園の種類別の公園数について伺う。

答弁 都市公園数は全体で、現在227公園あり、種類別では十王公園などの街区公園が162公園、井田公園などの近隣公園が19公園、矢作公園などの地区公園が2公園、東公園などの総合公園が2公園、広域公園として岡崎中央総合公園が1公園ある。その他として、歴史公園や緑地、緑道などの公園が41公園となっている。今回、牧平公園は新たに近隣公園として位置付けられる。

平成22年度3月補正予算

(単位：万円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	12,198,889	△84,876	12,114,013
特別会計	6,550,662	△126,927	6,423,735
企業会計	3,034,240	△78,489	2,955,751
合計	21,783,791	△290,292	21,493,499

討論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派の代表者などが賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

市長提出議案

○『敬老祝金の支給に関する条例の一部改正』

【自民清風会】は、「敬老祝金の支給要件と額を見直すもので、高齢者福祉費用が増大し、毎日の生活を守る費用が優先されるが、財政回復の折には元に戻すことを望む」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】は、「これまで支給された敬老祝金を一部見直すもので、高齢者にとって大切な市民サービスであり、他市の状況も勘案し検討されるよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

【日本一愛知の会 岡崎】は、「現在の財政状況は、我慢しなくてはいけない時であり、見直しは必要と考えるが、金額にかかわらず敬老を祝う気持ちを充実して欲しい」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】は、「平成22年の寿バス券等の廃止に続く高齢者の切り捨てであり、本多邸の復元や悠紀の里整備などは残しながら、高齢者の楽しみを奪うも

のである」とし、反対した。

○『平成23年度一般会計予算』

【自民清風会】は、「市税収入に若干の増収が見込まれるものの、22年度同様厳しい財政環境の中で、緊急性や必要性を十分精査した上で「誇りと安心をもてる住みよさを次の10年につないでいく予算」として編成し、市民福祉の維持と確保に努めている」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】は、「市税収入の若干の増収は見込めるものの、依然として厳しい財政環境の中で、生活保護費や医療費等の大幅な増加に対し、今まで以上に事業の必要性や緊急性を精査した予算である。執行に当たっては、これまで以上の慎重な配慮を強く要望する」と意見を述べ、賛成した。

【日本一愛知の会 岡崎】は、「企業収益の回復に伴い、市税収入が15億円ほど増収とはなるものの、社会保障関係費はそれ以上の伸びが見込まれ、引き続き非常に厳しい経済状況の下で編成されている」と意見を述べ、賛成した。

【公明党】は、「義務的経費は、確実に予算付けを行う一方で、政策的な経費は、真に23年度に実施が必要な事業の予算付けとしていられると思われ、増大する市民ニーズに対し、より一層の市民福祉の向上に努力することを期待する」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】は、「市

としても国の補正予算等の情報収集に努め、暮らし福祉一番の岡崎市となるよう予算編成を行うべき」とし、反対した。

○『平成23年度病院事業会計予算』

【自民清風会】は、「経費削減にも引き続きの努力がなされ、収益的収支は22年度当初予算と比較して7億5000万円の収益改善となり、1億6000万円の黒字予算となっており、評価できる」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】は、「医師を始め病院関係者の努力により、23年度は当初予算から黒字が予想されている。今後も厳しい病院経営が予想されるが、更なる努力を要望する」と意見を述べ、賛成した。

【日本一愛知の会 岡崎】は、「市民病院の経営方針や経営状態は、良好な方向に向かっていくと理解するが、医療を取り巻く状況は一刻と変化しているため、いろいろな変化に注意深く対処されたい」と意見を述べ、賛成した。

【公明党】は、「新棟建設及び放射線治療機器の導入により、がん診療の最先端医療の充実が図られると考える。更に2次病院や各医療機関との病診連携をより充実させ、医療の安全と質的向上を期待する」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】は、「23年度予算は、新棟建設などもある

が、愛知県西三河南部東医療圏が新たに分離されベッド数で684床増え、そのうち65床を市民病院で増やすとのことであり評価する」と意見を述べ、賛成した。

○『平成23年度水道事業会計予算』

【自民清風会】は、「経常利益は22年と同水準が見込まれ評価する。今後も、より一層経営の効率化を図り水道水の安定供給に努められたい」と意見を述べ、賛成した。

【ゆうあい21】は、「23年度も9億円の黒字予算となっている。男川浄水場の建設を控えており、更なる自助努力を要望する」と意見を述べ、賛成した。

【公明党】は、「市民病院等の重要施設への水道管路の耐震化や大西配水場2号配水池の耐震化工事の推進は評価する」と意見を述べ、賛成した。

【無所属・日本共産党】は、「水道事業は経費削減より安全が求められる。事業者選定や契約は安全面を重視し、公開を原則とされた」と意見を述べ、賛成した。



男川浄水場

議案・請願・陳情審議結果 3月定例会

(○賛成、×反対)

採決結果	会派別賛否				
	自民清風会	ゆうあい21	の会岡崎	日本一愛知	公明党
市長提出議案（平成22年度分）					
平成22年度一般会計補正予算の専決処分	承認	○	○	○	○
工事請負の契約の変更（(仮称)新一般廃棄物中間処理施設建設工事）	可決	○	○	○	○
工事請負の契約の変更（丸岡新橋橋梁下部工事）	〃	○	○	○	○
工事請負の契約（下水道管渠築造工事（大樹寺一丁目ほか2箇町地内））	〃	○	○	○	○
損害賠償の額を定めること	〃	○	○	○	○
工事請負の契約（市立豊富小学校校舎改築工事）	〃	○	○	○	○
住民生活に光をそそぐ基金条例の制定	〃	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算（第6号）	〃	○	○	○	○
平成22年度下水道特別会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
平成22年度土地地区画整理事業清算金特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○
平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○
平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
平成22年度老人保健特別会計補正予算（第2号）	〃	○	○	○	○
平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
平成22年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
平成22年度継続契約集合支払特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○
平成22年度形埜財産区特別会計補正予算（第1号）	〃	○	○	○	○
平成22年度病院事業会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
平成22年度水道事業会計補正予算（第3号）	〃	○	○	○	○
市長提出議案（平成23年度分）					
包括外部監査契約	可決	○	○	○	○
愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正等に関する協議	〃	○	○	○	○
西三河地方教育事務協議会規約の一部改正等に関する協議	〃	○	○	○	○
市職員定数条例の一部改正	〃	○	○	○	○
市職員の給与に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○
市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○
敬老祝金の支給に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部改正	〃	○	○	○	○
保健所の設置等に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○
児童育成センター条例の一部改正	〃	○	○	○	○
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例及び生活環境等影響調査条例の一部改正	〃	○	○	○	○
産業人材支援センター条例の制定	〃	○	○	○	○
牧平公園条例の廃止	〃	○	○	○	○
地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正	〃	○	○	○	○
市立学校設置条例の一部改正	〃	○	○	○	○
図書館交流プラザ条例の一部改正	〃	○	○	○	○
平成23年度一般会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度市民休養施設桑谷山荘特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度下水道特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度土地地区画整理事業清算金特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度簡易水道事業特別会計予算	〃	○	○	○	○

件名	採決結果	党派別賛否 (○賛成、×反対)			
		自民 清風会	ゆ う あい 21	の 日 本 一 岡 崎	公 明 党
市長提出議案（平成23年度分）					
平成23年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○
平成23年度国民健康保険事業特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度介護保険特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度継続契約集合支払特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度額田北部診療所特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度豊富財産区特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度宮崎財産区特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度形埜財産区特別会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度病院事業会計予算	〃	○	○	○	○
平成23年度水道事業会計予算	〃	○	○	○	○
訴えの提起	〃	○	○	○	○
副市長の選任	同意	○	○	○	○
議員提出議案					
市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○
子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を求める意見書の提出	〃	○	○	○	○
容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出	〃	○	○	○	○
請願					
T P Pへの参加に反対する意見書の提出	不採択	×	×	×	×
陳情					
大幅増員と夜勤改善で、安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出	意見を付して議長に報告することとした。				
容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出					
市議会議員の定数削減、市議会議員の報酬削減、市議会議員のグリーン車使用廃止、					
市議会議員の海外視察廃止及び市議会議員のボーナス削減					

委員会の活動（1月～2月）

常任委員会	総務企画委員会		福祉病院委員会	
	1月26日～27日	新金沢交通戦略について金沢市を、シティプロモーション推進事業について富山市を調査	1月24日～25日	地域福祉事業について豊中市を、徘徊高齢者SOSネットワークについて富田林市を調査
2月15日	まちなか総合交通戦略の策定状況	2月14日	病院新棟計画	
環境教育委員会	環境教育委員会		経済建設委員会	
	1月25日～26日	英語教育推進事業について船橋市を、バイオディーゼル燃料推進事業について相模原市を調査	1月27日～28日	辻堂駅周辺地域都市再生事業について藤沢市を、としまビジネスサポートセンターについて豊島区を調査
2月16日	地球温暖化対策実行計画	2月15日	・岡崎地域職業訓練センター ・市民休養施設桑谷山荘	
特別委員会	東岡崎駅周辺整備検討特別委員会		防災基本条例設置特別委員会	
	2月 2日	東岡崎駅周辺整備の現状	1月18日	・防災対策 ・委員会の今後の取り組み
	2月16日	委員会の今後の取り組み	2月17日	・岡崎市地域防災計画 ・防災基本条例
議会運営委員会				
2月18日	3月定例会の運営等			

市政のここが聞きたい

- 自民清風会
 - ・将来まで自律した状態が続く都市経営
 - ・地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
 - ・健康やかに安心して暮らせるまちづくり
 - ・自然と調和した環境にやさしいまちづくり
 - ・賑わいと活力あるまちづくり
 - ・快適で魅力あるまちづくり
 - ・未来を拓く人を育むまちづくり
 - ゆうあい21
 - ・地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
 - ・健康やかに安心して暮らせるまちづくり
 - ・自然と調和した環境にやさしいまちづくり
 - ・賑わいと活力あるまちづくり
 - ・快適で魅力あるまちづくり
 - ・未来を拓く人を育むまちづくり
 - ・将来まで自律した状態が続く都市経営
 - 日本一愛知の会 岡崎
 - ・地方議会改革
 - ・市民生活・地域社会の充実
 - ・保健・医療・福祉の充実
 - ・経済の振興
 - ・都市基盤・生活基盤の整備
 - ・教育・文化の振興
 - ・自律した都市経営の実践
 - 公明党
 - ・平成23年度予算編成と行財政運営
 - ・福祉課題
 - ・子供支援対策
 - ・本市のDV対応
 - ・がん対策
 - ・市民病院
 - ・災害対策
 - ・観光活性化
 - ・多文化共生の充実
 - ・中小企業支援及び雇用対策
 - ・環境行政
 - ・森林行政
 - ・教育行政

代表質問

3月定例会では、会派を代表して、市政の課題や重要事業などについて質問がありました。なお、太字の質問項目を掲載しています。

自民清風会

■小野 政明

賑わいと活力あるまちづくり

まちなみ

問 観光が経済活動にもたらす波及効果は極めて大きく、国内外からの観光交流人口の拡大による地域経済の活性化に大きな期待が寄せられている。本市の新たな観光振興策の取り組みについて伺う。

答 国は平成22年6月に発表した新成長戦略において、観光を大きな柱の一つに掲げている。本市としても、国・県や近隣の自治体などと連携を図り、観光振興策を展開していく。具体的には、



武将隊で使用する紙甲冑

「三河家康公の旅 歓迎団」として中国のマスコミ関係者を招いて宣伝活動を行うほか、多言語の観光ガイドブックやプロモーションDVDを活用した誘致活動、案内表示の多言語化などに取り組む。また、22年度に製作したオリジナルの紙甲冑を活用し、家康公と徳川四天王などによる武将隊が岡崎公園の来園者等へのおもてなし事業を展開する。本市の持つ高い観光ポテンシャルを活用し、岡崎ならではの心のこもったおもてなしができるよう、商工会議所や市民と一緒に知恵を絞っていきたい。

問 豊橋市内の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した際、本市でも対策本部を立ち上げたが、発生情報を得た後の対策と、今後の取り組み方針について伺う。

答 鳥インフルエンザの発生情報が入った場合、岡崎市高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部設置要綱に基づき部会を開催し、各部署での必要な措置について協議し対応する。主な対策として、市のホームページや相談窓口の設置などにより情報提供や注意喚起を行う。また市内で発生した場合、発生農場での鶏の殺処分や消毒、焼却・埋却などの防疫措置

は、県が主導するため、人員などの協力要請に対して積極的に連携を図る。今後の取り組みについては、県の家畜保健衛生所と連携し、養鶏農家に対して発生防止のための日常的な対策や衛生管理の徹底を要請していく。また市内で発生した場合に迅速な対応が取れるよう情報収集に努め、県や庁内関係各課との連絡を取り、平常時から全庁的に体制を整えて対処していく。

快適で魅力あるまちづくり

まちなみ

問 高齢社会に対応した暮らしためには、誰もが安心して安全に利用できる移動手段の確保が大きな課題であると考えますが、現状と今後の取り組みについて伺う。

答 20年度からの3カ年で実施している地域公共交通活性化・再生総合事業では、市内の主要な交通拠点と市民病院を結ぶ基幹バスネットワークの整備を行うとともに、額田地域をモデルに、住民組織との協働により小学校の統廃合による児童の通学にも対応した乗合タクシーなどの運行、更には、バス路線の廃止申し出のあった地域などにおいて、交通事業



おかげさすエクスプレス

者との協議により、地域の特性や需要にあった改善をする取り組みなどを進めてきている。今後の課題としては、これまでの取り組みを踏まえ、住民と行政、交通事業者が三位一体となって地域公共交通を守り、育てていく取り組みを展開していくことが必要と考えている。

未来を拓く人を育むまちづくり

問 児童生徒のより良い教育環境の整備と、教育の質の充実を目的として新設中学校の計画が進んでいるが、通学方法、部活動、制服などの選定方法及び建設に向けた進捗状況について伺う。

答 各学区で開催した説明会において、通学方法や通学路、部活動、制服に関することなど多くの質問があった。これらについては、開校1年前となる平成24年

4月に新設分離の母体校である南中学校に地元総代、PTA、教員等による開校準備委員会を発足させて検討協議を行い、新設中学校へ生徒が安心して通うことができよう、必要事項を決定していく予定である。建設に向けた進捗状況については、22年度は用地取得、実施設計、まちづくり条例に基づく事業説明会を行った。今後は工事発注に向けライフサイクルコストの縮減を図り、23年度から24年度に建設工事、25年4月の開校を目指し、関係者の理解、協力の下、計画を着実に進めていきたい。

ゆいあい21

■内藤 誠

地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり

問 23年度より旧岡崎6支所が市民課から独立し、額田支所と同様な位置付けとなる。コミュニティ活動支援を含めた今後の支所の進むべき方向や業務内容、機能の見直しについて伺う。

答 本市の第6次総合計画の基本構想では、歴史的・文化的に結びつきを持ち、コミュニティとして一体感を醸成できる八つの地域（支所、本庁地域）に市域を区分し、地域との協働の下で各地域に応じたまちづくりを進める



額田支所

ことを目指しており、今後、まちづくりという役割における地域のコミュニティ活動の支援を拠点的に担っていくことが、支所の進む方向になると考えている。このために、地域の代表と行政が情報を共有し、意見交換ができる場として、新たに（仮称）地域連絡調整会議を支所に設けるとともに、庁内体制では、縦割りの弊害を無くし、一体的に支援等を行うために（仮称）地域活動支援調整会議を設置する予定で準備を進めている。

賑わいと活力ある

まちづくり

問 金沢市との観光交流都市協定が締結され3年余りが経過し、様々な事業が行われたと思うが、市民の交流、行政の交流がどのように行われたのか。また、金沢市との観光交流の将来展望についても伺う。

答

協定の締結後、両市ホームページ上での情報発信や観光ボスターなどの交換を行っているほか、家康行列にミス百万石を始めとする金沢市の皆様に参加してもらっている。市民レベルでは、本市から金沢百万石まつり見学ツアーの実施や、おかげさす観光ガイドの会による訪問と交流、金沢市側からは、秋の市民まつりに物産展の出店があり、来場者と交流を図った。更に、東海北陸自動車道の全線開通を契機に、金沢市内の旅行代理店などに観光商品作りを依頼し、新たな観光コースに組み込まれた。将来展望としては、引き続き旅行商品作りの促進や新たな観光キャンペーンを展開して交流人口の拡大に努め、両地域経済の活性化につなげたい。

快適で魅力ある

まちづくり

問 第6次総合計画の中で地域バランスの取れた公園整備や、高齢化社会に即した公園整備の推進がうたわれているが、具体的な計画について伺う。

答 本市では、都市公園整備や都市の緑の保全等、緑に関する総合的な計画として緑の基本計画を策定しており、公園が不足している地区では、身近な公園の整備を進めることとしている。具体的には都市公園のほか、児童遊



ユニバーサルデザインに対応した水飲み

園や子ども広場を含めた施設の配置バランスなどを考慮して、多くの市民が身近にレクリエーションが楽しめる、憩いの場を確保していくこととしている。また、高齢化社会に即した公園整備としては、既存の公園施設のバリアフリー化を進め、新たに整備する公園にも、ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが使いやすい公園の整備を進めることとしている。今後、緑の基本計画を基にアクションプランを策定していく予定であるが、社会情勢や経済状況を勘案し、より具体的な整備について検討を進めたい。

将来まで自律した

状態が続く都市経営

問 公共施設が真に市民のための施設となるよう、市民サービスの一層の向上と、効果的で

効率的な施設運営や管理運営費の市民負担の在り方など、改めての検討が必要と思うが、公共施設の現状と課題について伺う。

答

公共施設については、市民ニーズや社会的要請を基に順次配置してきたが、極端に利用率が低い施設や、特定の部屋についてはほとんど利用されていない施設があり、また多くの施設で生涯学習的な利用が主で、本来の設置目的が生かされていないと思われる状況がある。更に、平成26年には100平方メートル以上ある399施設中、市民会館や体育館など208施設が市有建築物管理保全基本方針に基づき、大規模改修の検討が必要となることから、大きな財政的負担を要することが懸念される。このため、公共施設が持つ役割や効果等を検証し、将来にわたる必要性などを見定め、将来的な見通しに立った再編を進めていかなければならないと考えている。

日本一愛知の会 岡崎

山本 雅宏

地方議会改革

問

市議会では、議会基本条例を制定し、議会の見える化に踏み込み、政務調査費についても透明化してきていると考えているが、中核市や近隣の他都市と比較した現在の岡崎市の評価について伺う。



議場

答

市議会の評価については、大学のマニフェスト研究所による議会改革度調査が1797ある全地方議会を対象に情報公開、住民参加、機能強化の3つの点から実施され、その結果が22年末に公表された。本市議会は、調査に回答した1350余りの議会、回答率でおおよそ75%だが、この中で77位にランキングされるといふ結果であり、一定の評価を受けているものと考えている。なお、中核市40市の中では6番目、三河14市の中では豊田市に次ぎ2番目の評価結果となっている。

経済の振興

問

公共事業において、無駄な部分はファシリティマネジメントで、必要な部分は経済活性化のために肅々と更新させていくべきであるが、市有建築物管理保全基本方針の内容について伺う。

答

26年に市有建築物の半数以上で築後30年を迎える。このため、市有建築物管理保全基本方針を定め、一元的に作成された中長期計画に基づく保全工事を実施し、建築物の長寿命化及び工事費の平準化を図る。保全工事を行う建築物を定めて長寿命化に効果的な工事箇所を特定することで、基本方針で定めている目標耐用年数80年に近づけて維持管理費の削減を図る。また、建築物に優先順位を設け、単年度に工事を集中させることなく財政の平準化を行う。更に、保全工事を確実に行うため、基金の活用や予算枠の確保についても定めている。今後は基本方針に基づいて、庁内で横断的なファシリティマネジメント会議を組織し、遊休施設の活用や建築物の統廃合についても検討を進める。

都市基盤・

生活基盤の整備

問

厳しい財政状況の中、新文化会館や子ども科学館、南部給食センター等数々の土地の取得が予想されているが、その土地と同等の土地を売却し、限られた土地の有効利用を図ることが喫緊の課題と考えるが、今後の土地利用についての考えを伺う。

答

本市が所有する普通財産は、13年以降、公共的な利用の見込みがなく、住宅地等に利用で



都市としての総合力の向上が図られる。今後、本市の飛躍のためには都市ブランド戦略策定が不可欠であると思われるが、見解は。

答

民間調査機関が22年に実施した地域ブランドに関する調査結果によると、高い成果を残した取り組みは少数で、地域的なブランド向上に一定の効果はあったものの、地元の活性化につながったケースはまだ少ない状況のようである。また、ブランド化推進に向けて集中的に取り組む人材の確保と地域全体を巻き込むための組織体制作りが大きな課題であるとしている。しかし、次の時代に向けて本市の魅力を高め、都市間競争を勝ち抜いていく戦略を持つことも重要な視点であると考えており、全国での先進的な取り組み状況も踏まえ、本市の豊かな歴史的、文化的な資源を活用した観光や商工業などを軸とした都市ブランド戦略について、市制100周年に向けた取り組みの課題の一つとして研究していきたい。

自律した都市経営の実践

これにより、公共施設の再編や適正配置も念頭に置いた財産の効率的な運用を図る。新たな施設建設等により不要となった土地は積極的に売却を進めていきたい。

問

都市ブランド戦略策定により、都市のイメージが高まり、人、物の交流を活性化させ、



の積極的な活用が図られるよう目的別に積み立てた基金を包含し、総合的な基金として再編成し有効活用することについて見解を伺う。

答

ここ数年の予算要求では、公共施設の老朽化に伴う修繕整備に対するものが多いが、厳しい財政状況の中で先送りしなければならぬ状況となっている。今後、計画的に施設の維持修繕を行う方針であるが、的確に対応するためには、現行の基金を再編成し、総合的な基金に統合し、広い範囲の公共施設に適用できるような基金にすることが、財源を確保する上で有効かつ必要な考え方と感じている。現在、本市が抱える様々な課題を整理しつつ、各基金条例の設置目的に反しない範囲で活用できるのか、あるいは再編を要するののか等について、財政調整基金の在り方と併せて研究してい

公明党

■畔柳 敏彦

平成23年度予算編成と行政運営

問

税金の劇的な増加が見込まれない中、貯金に当たる基金

○3月定例会の動き

1日	本会議
開会、会期決定、市長提案説明	
2日	本会議
代表質問	
3日	本会議
代表質問	
4日	本会議
平成23年度議案説明	
9日	本会議
平成23年度議案総括質疑、委員会付託	
10日	本会議
平成22年度議案説明、質疑、討論、採決	
14日	経済建設委員会
15日	福祉病院委員会
16日	環境教育委員会
17日	総務企画委員会
22日	行財政改革調査特別委員会
議会運営委員会	
24日	議会運営委員会
28日	本会議
委員長報告、質疑、討論、採決	
追加議案の説明、質疑、討論、採決、閉会	

る。第1段階として、基金の統廃合による弾力的・有効的な活用についての本市の方向性を早い時期に示したいと考えている。

福祉課題

問 認知症高齢者の増加に伴い徘徊者が増加することが予測される。徘徊による事故を未然に防止するため、本市の徘徊高齢者対策の現状について伺う。また、今後についての見解は。

答 徘徊による事故を未然に防止するため本市では、在宅で徘徊行動のある認知症高齢者を介護している家族に対して、高齢者の早期発見と安全の確保、また家族が安心して介護できることを目的として、位置情報検索システム初期費用の助成事業を実施している。今後、認知症高齢者の増加に伴い、徘徊高齢者も増加することが予測されることから、徘徊による事故を未然に防止するためには、地域における見守り支援の強化がより必要になると考えている。国及び県が徘徊高齢者対策として、徘徊見守りSOSネットワーク構築事業の提案を行っており、本市としても今後検討していきたいと考えている。

問 本市の就労移行支援事業所など就労系の事業所の数、及びそれらの事業所などから一般



企業へ就職した実績について伺う。また、これらの事業所からの就労について課題や今後の対策は。

答 平成23年1月現在、市内の就労系事業所は就労移行支援が2事業所、労働基準法が適用される就労継続A型が3事業所、適用されない就労継続B型が16事業所であり、就労系事業所から一般企業への就職実績は、18年度9人、19年度9人、20年度13人、21年度8人という状況である。障がい者の雇用促進は、事業所の独力だけでは大きな成果を上げることが困難であり、職業安定所などとの連携や企業の理解が不可欠であると認識している。自立支援協議会就労支援専門部会での協議の具

体策として、23年度から市役所に障がい者の就業相談窓口の設置を

して、雇用先企業の開拓も実施する予定である。今後、就労支援専門部会で事業所、職業安定所との連携を図り、障がい者の雇用促進について協議していく。

災害対策

問 平成20年8月末豪雨災害時に本市ではどのように被災状況を把握し、その支援体制はどのようなであったか伺う。また、支援の進捗状況を的確に把握し、すべての被災者の生活再建を支援するためにも、データベース化した被災者台帳による支援システム作りが必要と考えるが見解は。

答 災害発生直後から、家屋の応急危険度の判定や被害調査を開始し、延べ3374棟について被害認定を行った。支援体制については、発災日から被災証明の窓口を設置し、その後被災者再建支援法に係る支援や災害見舞金の支給、税の減免措置など61項目にわたる支援メニューを取りまとめ、被災地の住民へチラシを配布するなど周知するとともに、総合相談窓口を設置した。現在、家屋の被災状況に関する調査結果のデータベース化を進めており、今後はこれを被災者台帳化して、全身的に共有することも視野に入れ、総合的な被災支援のシステム作りに取り組みたい。

に

議会を傍聴して

○初めて傍聴してみても、質問の大変さ（幅広さ・掘り下げ方法など）が分かり、議員の勉強ぶりに感心しました。岡崎市議会も安泰と感じました。

（男性 69歳）

○次年度予算に対して議会の質疑応答を傍聴しました。活発な意見交換が行われ、身近に感じられたので、非常に良い経験になりました。

（男性 34歳）

○予算に対する質疑については、内容が細かく、分からないところもありましたが、それだけ慎重、真剣に議論されているということが分かり、良かったと思います。自分の今後に役立てていきたいと思っています。

（男性 36歳）

○市議会はいつでも傍聴できるのに、人生で初めて議会を傍聴しました。23年度予算等に対する質疑応答で難しい内容でしたが、自分の住む岡崎市の予算がどのように使われているのかとても興味深く聞くことができました。機会があればまた傍聴させていただきます。

（男性 40歳）

6月定例会予定

5月30日(月)	請願・陳情締切
6月1日(水)	開会・市長提案説明・(一般質問)
2日(木)	一般質問
3日(金)	一般質問
6日(月)	一般質問
9日(木)	議案説明・総括質疑・委員会付託
13日(月)	経済建設委員会 福祉病院委員会
14日(火)	環境教育委員会 総務企画委員会
20日(月)	議会運営委員会
22日(水)	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

○一般質問の通告内容は、開会日までにホームページに掲載します。(アドレスは下段に掲載)

○開会、一般質問、閉会の模様は、ケーブルテレビミクスで中継放送を、議案説明を含む本会議の録画映像をインターネットに掲載する予定です。

○各会議の開催時刻は午前10時の予定です。(福祉病院委員会と総務企画委員会は午後1時15分の開催予定)

東日本大震災の被災者の皆様にお見舞い申し上げます

3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震におきまして、被災されました皆様にお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々とそのご遺族の皆様へ、深く心よりお悔やみを申し上げます。岡崎市議会議員親和会は、3月14日被災されました皆様の一日も早い復興をお祈りし、東日本大震災義援金100万円を送りました。

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、入口で住所・氏名をご記入いただくだけでですので、お気軽にお越しください。(本会議場は西庁舎3階、委員会室は西庁舎2階です)

◎議会の日程、傍聴、請願・陳情などに関する事項は、議事課(☎23-6378)までお問い合わせください。

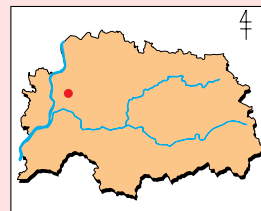
議会ダイヤル ☎	
自民清風会	☎23-6390
ゆうあい21	☎23-6394
日本一愛知の会 岡崎	☎23-6608
公明党	☎23-6396
無所属	☎23-6397
無所属	☎23-6385
議会事務局	☎23-6377

青葉に風薫る季節となりました。平成23年度の予算は、厳しい財政状況の中にも「誇りと安心をもてる住みよさを次の10年につないでいく予算」として、防災対策関連予算を始め安全に安心して暮らせる魅力あるまちづくりを目指した堅実な予算編成となっています。3月11日に発生いたしました東北方太平洋沖地震により被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。



編集後記

○伊賀川堤の桜並木が今年も鮮やかに咲き誇りました。川面を覆うように咲く桜のトンネルが視界いっぱい広がりに、多くの人々の心を和ませてください。



表紙の写真

伊賀町

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

●子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を求める意見書

ワクチン接種により、子宮頸がんの予防だけでなく医療費抑制にもつながるとの試算がある。現在は公費助成があるものの原則自己負担であるワクチン接種の自治体間の格差をなくすため、予防接種法による定期接種の対象とすること、定期接種化が平成23年度末までに間に合わない場合は補助事業を延長することを要望する。

◎提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

●容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

自治体が税金で容器包装を分別収集していることで、容器包装を選択する事業者には発生抑制や環境配慮設計に取り組もうとするインセンティブが働かず、ゴミの削減努力をしている市民には負担の在り方に不公平感が高まっている。容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを要望する。

◎提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全 行政刷新)

議会にかかわる条例・規則などの改正

(平成23年4月1日施行)

●市議会委員会条例の一部改正

市事務分掌条例の一部改正により、常任委員会の所管に関する規定を整備した。